

笑顔のまち目指し「オールましき」

益城町長

西村 博則

新年、明けましておめでとうございます。

町民の皆様におかれましては、希望に輝く新年をお迎えのことと、心からお慶び申し上げます。

昨年は、町長に就任以来、町民の皆様には、貴重なご意見、ご支援、ご協力をいただき深く感謝申し上げます。

さて、国においては景気回復のための経済戦略（アベノミクス）が進められておりますが、まだまだその効果は地方に浸透しているとは言えない状況です。昨年12月に衆議院議員選挙が実施され、新政権には、地方が元気になる経済政策や社会保障の充実を期待するものです。

昨年を振り返ってみますと、女子サッカーチーム、「益城ルネサンス熊本」のチャレンジリーグ昇格や、6月から始めた益城ふるさと市場「はぴまる」の大盛況など町民の皆様が明るくなる話題がありました。

5月には過去の震災を教訓に今後起こりうる自然災害に備えるため、福田校区を対象に防災訓練を実施しました。

折しも、全国ではゲリラ豪雨や御嶽山、阿蘇山の噴火など自然災害が多発しています。しかし、長野県白馬村の地震では、死者が1人も出ませんでした。これは、日頃から住民と住民の間で顔の見える付き合いができていたか

らです。『自らの地域は自分たちで守る』ということ

ことを基本

に、地域と行

政が一体と

なつて防災力を

強化し、町民の皆様

の安心・安全な暮らしを実現したいと考えております。

農業・商工業におきましては、六次産業化を推進することができ、古閑に農産物加工場（㈱ロッキー）、食肉加工卸売業（㈱木原食肉生業）、土山に（㈱西日本フレッシュフーズ）、宮園に（㈱マース）が立地し、さらに木山農協跡地に「スーパードリーズよかもんね」が建設中で町内からの多くの雇用が見込まれます。

さて、新年度におきましては、「町民のみなさんが元気に笑い合えるまちづくり」、「町民のみなさんが主役のまちづくり」を目指し、本格的な事業展開を図ってまいります。マニフェストに掲げている「六つの約束」の実現を図るとともに、国が進めている「まち・ひと・しごと創生」を活用し、雇用・子育て・教育環境の推進や定住促進を図るため、町民、議会、町が一体となつてアイデアを出し合い、地域を活性化するための具体的な総合戦略を策定し

ます。

さらには、子ども

もの教育環境を充実させるため、小学校へのエアコン設置、高齢者への支援として、タクシー補助券の交付や地域密着型介護施設の整備を計画しているほか、できる限り介護状態にならないように、健康で長生きしていただくための事業や、ワンコインで受けることができる特定健診の実施などを進めてまいります。

益城町は、誇るべき地域資源、人的資源が豊富で、無限の可能性を秘めています。町民の皆様が元気に笑いあえるまちを目指し、「オールましき」の体制で各種の事業について、スピード感を持って、誠心誠意全力で取り組んで参ります。今後とも、なお一層のご支援とご協力を賜りますようお願い申し上げます。

新しい年が町民の皆様の笑顔が溢れる年になりますよう、心からお祈り申し上げます。年頭のごあいさつと致します。